

上南公民館開館50周年記念「沖新田物語」公演

受け継ぐ先人の思い、

共に未来へつなげよう



日時 令和7年1月18日(土) 10時~12時

会場 上南中学校体育館 岡山市東区金田722

※場所・駐車場案内は裏面をご覧ください。

※会場は土足禁止ですので、上履き(スリッパ)などをご持参ください。

<主催> 上南公民館開館50周年記念事業実行委員会・岡山市立上南公民館

<問い合わせ> 岡山市立上南公民館 086-948-3352

開館50周年を迎えて

上南公民館 開館 50 周年記念事業実行委員長 小泉 太郎

上南公民館開館50周年を心からお慶び申し上げます。このたび記念事業として「受け継ぐ先人の思い、共に未来へつなげよう」というスローガンを、横断幕にして掲揚しています。また、部会による各種展示物、映像制作等、そして「沖新田物語」を1月18日に上南中学校で上演します。記念事業に携わっておられる皆様に敬意を表します。公民館が地域の発展と皆様が心豊かに暮らすための一助になれると信じています。これからも公民館の活動にご理解とご協力を宜しく願います。

「沖新田物語」公演について

この劇は、かつて赤枝功氏が操南小学校で教師をされていたときに学芸会で児童に演じさせたのが元になっています。平成になって、教え子の箕輪利一氏がその劇を復活させて、現代編を付け加えたシナリオを作成し、それを地域の有志で構成する「沖新田一座」が演じています。

「沖新田一座」の公演は、少しずつメンバーを変えながら回を重ねています。今年度は、上南公民館開館 50 周年記念公演として、沖新田一座とともに上南中学校の先生・生徒、開成小学校・政田小学校の先生、地域の方々が一つのチームになり、地元の歴史を伝えようと約4カ月の練習に励み当日を迎えます。

上南地域の方々の新田魂を感じてください。

干拓事業と人々の苦勞

沖新田は、江戸時代の初め、池田光政の命を受けた津田永忠による干拓事業によって出来た土地です。沖新田の干拓は大変な難事業であり、海の神の心を和らげるために若い女性で人柱を立てたとも言われています。その干拓地に移住した人たちは幾多の苦勞を重ねて不毛の大地を実りの大地へと変えていきました。



会場(上南中学校)周辺地図

